

題材名 清潔な身なりを考えよう

ねらい ・ 周りの人からどのように見られるのかを考えることで、清潔な身なりを心がけることができる。

段階	学習活動	時間	支援及び指導上の留意点
導入	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートのイラストを不潔な身なりを表現しているところを見つけて、気づいたところを記入して発表する。 	10分	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートには、衣服のチェックするポイントと、身体をチェックするポイントを明示して、丸印を付けるのもよい。 文字で表記することが苦手な生徒には、絵に伝える。
展開	<ul style="list-style-type: none"> 衣服が汚いと周りの人からどのように思われるかを考える。 	25分	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が感じたことを言葉で書けるようにする。見た目の汚れだけで無く、臭いや衛生面についても意識を向けられるようにする。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><言葉かけの例> 「汗をかいた体育着を洗わないとどうなるかな？」 「汚い給食着のまま配膳をしているとどうかな？」</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> イラストを提示して、「毎日」、「洗濯する」という言葉を引き出す。
	<ul style="list-style-type: none"> 身体が汚いと周りの人からどのように思われるかを考える。 		<ul style="list-style-type: none"> イラストからは分からないが、髪が汚れるとふけが落ちたり、臭いがしたり、伸びた爪の中が黒くなったりすることも説明し、周りの人にどのような印象を与えるのか考える。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><言葉かけの例> 「レストランで料理を運んでくる人の手が汚かったらどう思う？」 「バイ菌が付いた手で調理をしたらどうなるかな？」 「汗臭かったらどう思う？」 「スーパーでおつりを渡された手が汚かったらどうかな？」</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 衣服の汚れの話も振り返り、「毎日」、「入浴する」という言葉を引き出す。
	<ul style="list-style-type: none"> 衣服の清潔と身体の清潔の他に、目につけにくい気配を付けることによる清潔感の低下を考慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> 身体の部位のポイントを絞ることで、発言しやすいようにする。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><言葉かけの例> 「あごの周りはどう？」→「ひげ、髭剃り」(男子) 「鼻から何か出ていないかな？」→「鼻毛」(鼻毛カッター知ってる?) 「口や歯はどうかな？」→「歯の汚れ、口臭」 「手や指先はどうかな？」→「爪」(自分で爪切れる?)</p> </div> <p>※ 「○○くんは□が臭い」「ふけが付いていて汚い」など、友達を中傷することの無いように配慮をする。</p>	
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習を振り返り、どのようにつけて清潔な印象を持って発表するかを振り返り、清潔な身なりを表現しているところを記入して発表する。 	15分	<ul style="list-style-type: none"> 「衣服は汚れたら洗濯する」「毎日入浴して体を清潔にする」というポイントで、記入と発表ができているかを確認する。 清潔な身なりは社会人としてのマナーであり、自分で気付いて直すことが大切であることを伝えてまとめとする。